

特集

じょうかまち

城下町高田の

歴史・文化をいかした

「街の再生」

いまいそめものや がんぎ
旧今井染物屋前の雁木通り

高田地区は、駅、商店街、学校、病院、行政機関などの都市機能や人々が集まる中心市街地であり、高田城の城下町として栄えた歴史や文化、建築物が残る街です。

その高田の街並みを代表する雁木は、町家の軒や庇を張り出して作られた屋根つきの通路で、雪国の冬の通路を確保するために生まれました。

雁木の敷地は個人の所有地であり、町家の所有者がそれぞれ通路を提供することで、総延長日本一の雁木通りが形成されています。

今、雪国の知恵と共助の精神が受け継がれている高田の歴史や文化を生かしながら、街を再生し、にぎわいや交流を生み出そうとする取り組みが進んでいます。

▼問合せ：企画政策課（☎025・526・5111、内線1452）

※今回の特集は、読みやすいように文字を大きく、行間を広めに取りました。